

平成25年度教育研究活動報告書

氏名	大野 太郎	所属	経済情報学部経済情報学科
学位	博士（経済学）	職位	講師
専門分野	財政学・公共経済学		

I 教育活動	
本年度担当科目	
学部	財政学Ⅰ 財政学Ⅱ 地方財政論 基礎演習Ⅰ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ
II 研究活動	
これまでの主な研究業績（5件まで）	
(1) 「租税条約における情報交換規定の考察」『経済政策ジャーナル』3(1)、pp.38-58、2005年	
(2) 「租税条約と部分的政策協調の理論的考察」『経済政策ジャーナル』4(1)、pp.112-130、2006年	
(3) 'Empirical Analysis of International Tax Treaty and Foreign Direct Investment', <i>Public Policy Review</i> 6(2), pp.287-312, 2010年	
(4) 「地方債充当率の経済分析：理論分析と都道府県データからの検証」『財政研究』第6巻、pp.170-189、2010年	
本年度を含む過去3年間の研究業績	
(1) 「法人税における税収変動の要因分解：法人税パラドックスの考察を踏まえて」PRI Discussion Paper Series、No.11A-09、2011年	
(2) 「地方債充当率の実証分析：市町村データからの検証」『財政研究』第7巻、pp.176-190、2011年	
(3) "An Economic Analysis on the Consultative System of Local Bond", <i>Public Policy Review</i> , Vol.8 No.4, pp.503-536, 2012年	
(4) "Merger of Major Banks from the EVA standpoint", <i>Public Policy Review</i> , Vol.8 No.5, pp.737-774, 2012年	
(5) 「情報サービス業の生産性：生産性動学と実証分析」『尾道市立大学 経済情報論集』第13巻1号、pp.43-64、2013年	
(6) 「家計の所得・消費・貯蓄：『全国消費実態調査』『家計調査』『国民生活基礎調査』の比較」PRI Discussion Paper Series, No.13A-05、2013年	
(7) 「家計の世帯分布：『全国消費実態調査』『家計調査』『国民生活基礎調査』の比較」PRI Discussion Paper Series, No.13A-06、2013年	
(8) 「家計の税・保険料負担：『全国消費実態調査』『家計調査』『国民生活基礎調査』の比較」PRI Discussion Paper Series, No.13A-07、2013年	
(9) 「都道府県別から見た高齢化の進展と医療費の将来推計」『尾道市立大学 経済情報論集』第13巻2号、pp.49-72、2013年	
現在の研究テーマ（3つまで）	
(1) 家計の税・保険料負担	
(2) 医療・介護財政の将来推計	
研究テーマの進捗状況	「家計の税・保険料負担」については複数の統計間比較を通じて、各統計の特徴について考察している。また、「医療・介護の将来推計」については日本全国及び都道府県別の将来推計を行っている。
学会、所属団体における活動（本年度を含む過去3年間の研究業績）	
所属学会・所属団体 役職等	
日本経済学会、日本財政学会、日本経済政策学会	